

IV. 内科とのご関係についてお伺いします。

Q12. 糖尿病の紹介患者のうち、内科からの紹介形式はそれぞれどの程度の割合ですか。

- ①紹介状をつけず、口頭による紹介： (____%)
- ②紹介状(検査依頼)はあるが、内科の詳細情報(検査値・所見など)はつけない (____%)
- ③紹介状(検査依頼)に内科の詳細情報(検査値・所見など)をつける (____%)

Q13. 網膜症検査のため、内科医から眼科医への適切な紹介時期はいつとお考えですか。

- 1. 耐糖能異常が指摘された段階
- 2. 糖尿病の確定診断後すぐ
- 3. 経口的糖尿病薬の服用開始頃から
- 4. インスリン治療を開始する頃から
- 5. 眼科症状が出現してから
- 6. その他 (_____)

V. 先生のご勤務先、先生ご自身についてお伺いします。

Q14. 主なご勤務先の区分をご記入ください。

- 1. 病院 (大学病院を含む)
- 2. 有床診療所 (20床未満)
- 3. 無床診療所

Q15. 以下の勉強会、学会に参加されているものすべてに○をお付けください。

- 1. 日本眼科学会
- 2. 日本糖尿病学会
- 3. 日本糖尿病眼学会
- 4. 日本糖尿病合併症学会
- 5. 日本成人病学会
- 6. 地域を中心とした糖尿病の勉強会
- 7. 糖尿病学の進歩
- 8. 西東京臨床糖尿病研究会
- 9. その他 (_____)

(質問は以上です。ご協力ありがとうございました)

II. 現在の糖尿病の治療状況、日常生活についてお尋ねします。

質問5：現在、かかりつけ医（内科）では、どのような糖尿病治療を受けていますか。
あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 食事・運動療法 2. のみ薬を服用 3. インスリン注射

質問6：内科のかかりつけ医で指示されている糖尿病治療（食事の指示や服薬）をどの程度守っていますか。

① 内科かかりつけ医への通院間隔	1. 守っている 3. あまり守っていない	2. ほぼ守っている 4. 守っていない
② 食事・運動療法	1. 守っている 3. あまり守っていない	2. ほぼ守っている 4. 守っていない
② 服薬・インスリン注射	1. 守っている 3. あまり守っていない	2. ほぼ守っている 4. 守っていない

質問7：日常の診療以外で、日ごろ、糖尿病についての知識をどこから得ていますか。
複数ある場合は、すべてに○をつけて下さい。

1. 市民向けの糖尿病教室 2. テレビ・雑誌・新聞など
3. 家庭医学書や専門書 4. 友人、家族から
5. 患者会 6. その他（_____）
7. とくに知識を得ようとはこころがけてはいない

質問8：糖尿病に関連する以下の事柄についてどの程度十分理解していますか。

① 合併症にどのようなものがあるか	1. 理解している 3. あまり理解していない	2. やや理解している 4. 理解していない
② 定期的な通院の必要性	1. 理解している 3. あまり理解していない	2. やや理解している 4. 理解していない
③ 食生活や運動など日常生活の自己管理のやり方	1. 理解している 3. あまり理解していない	2. やや理解している 4. 理解していない
④ 糖尿病の薬の効き方や副作用	1. 理解している 3. あまり理解していない	2. やや理解している 4. 理解していない

Ⅲ. 眼科受診および合併症についてお尋ねします。

質問 9：糖尿病のために最初に眼科を受診した時期はいつ頃でしたか。

() 年 () 月頃 または () 歳のとき

質問 10：最初に糖尿病のために眼科医を受診した直接のきっかけは何ですか。

1. 内科医による指示があったから 2. 眼科の症状があったから
3. その他のきっかけ ()

▶ 附問 10-1：糖尿病のために眼科受診を最初に指示されてからすぐに眼科を受診しましたか。(質問 10 で「1.」を選択された方)

1. 3ヶ月以内に受診した 2. 3ヶ月以上放置した

質問 11：現在、あなたの眼の状態はどの程度の状態と考えていますか。

1. 知らない 2. 糖尿病網膜症には至っていない
3. 軽い網膜症 4. やや重い網膜症
5. 重い網膜症

質問 12：次の合併症にかかっていますか。かかっているものすべてに○をつけてください。

1. 神経障害 (手足がしびれる、感覚がにぶくなるなど)
2. 腎症 (尿に蛋白がでているなど)
3. 人工腎透析
4. 足壊疽
5. 心臓病 (狭心症、心筋梗塞など)
6. 脳卒中 (脳出血、脳梗塞など)

記入日、前回の眼科診察日、性別、生年月日をご記入ください。

記入日： ____月 ____日 前回の診察日： ____月 ____日
性別： 1. 男 2. 女
生年月日： (明治 大正 昭和 平成) ____年 ____月 ____日

質問は以上です。有難うございました。

以下は患者さんをご記入しないで下さい。

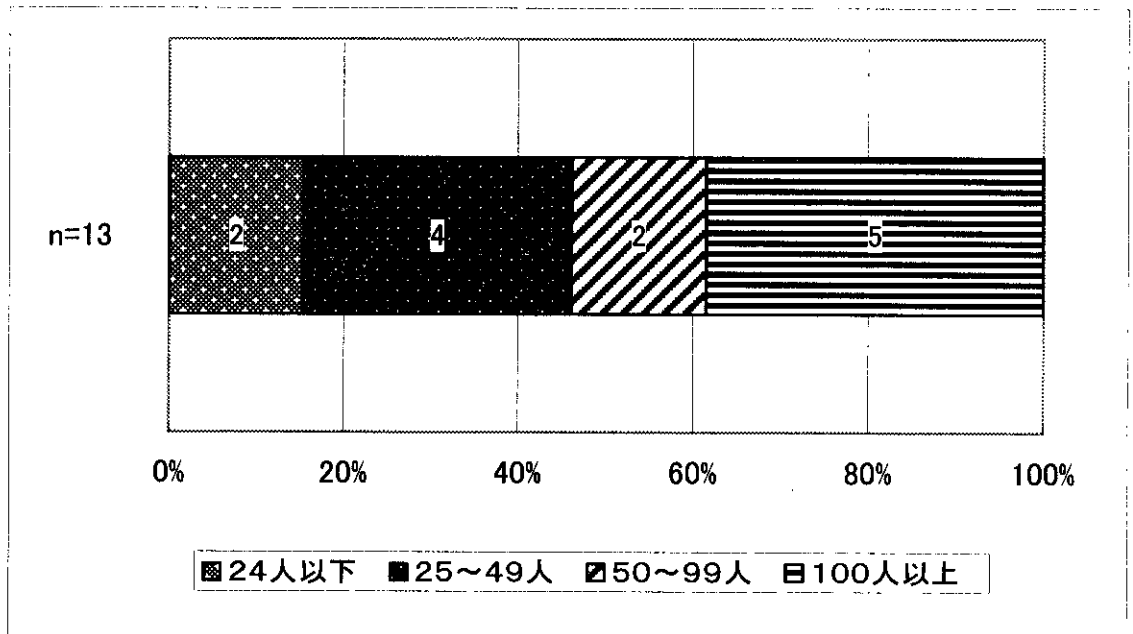
医師記入欄

糖尿病の病型	1. 1型糖尿病 2. 2型糖尿病 3. その他 4. 不明
当科初診日	_____年_____月
当科受診のきっかけ	1. 自覚症状、2. 他院内科からの紹介、3. 他の眼科疾患、 4. 自院内科からの紹介 5. その他 (_____)
当科初診時の網膜症重症度	1. 網膜症なし 2. 単純性網膜症 3. 前増殖性網膜症 4. 増殖性網膜症 5. 不明
現在の網膜症重症度	1. 網膜症なし 2. 単純性網膜症 3. 前増殖性網膜症 4. 増殖性網膜症
糖尿病網膜症についての 眼科初診タイミング	1. 適正 2. 遅かった 3. 以前かかっていた眼科での受診に関する情報がなく不明
現在の矯正視力	右：_____ 左：_____
処置の既往（あるものに○）	1. 光凝固 2. 硝子体手術 3. 白内障手術（糖尿病網膜症のため）
指示している眼科受診の間隔	_____週間毎
当該患者の当科受診状況	1. 指示通り受診している 2. ほぼ指示通り 3. あまり守っていない 4. まったく守っていない
最近のHbA1c	_____. ____% 不明

粗集計結果(内科専門医)

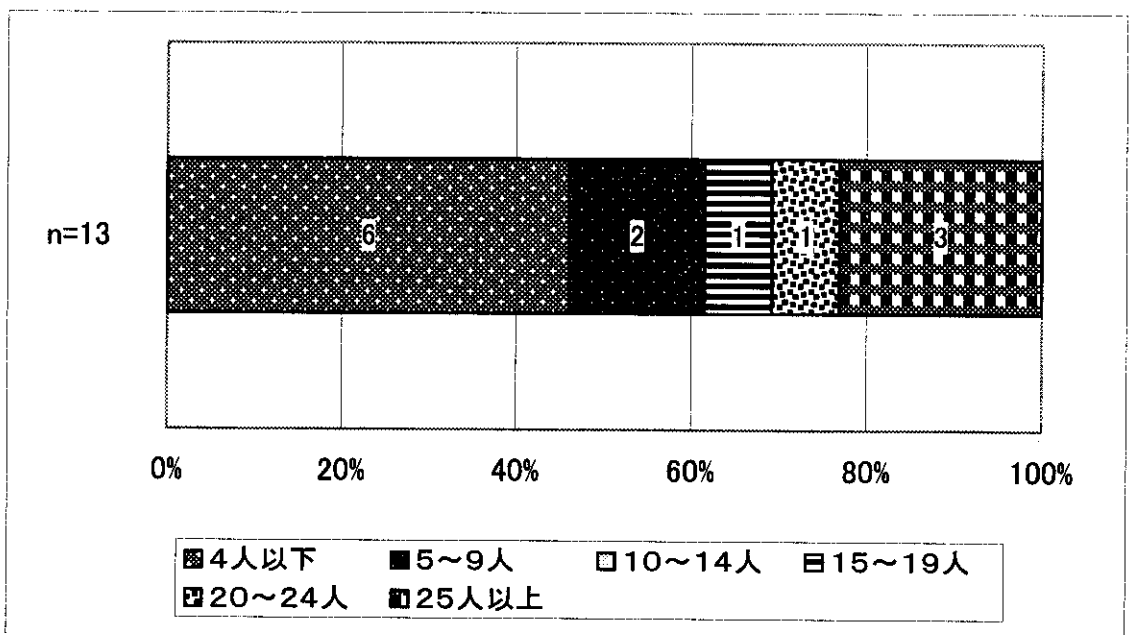
** 糖尿病網膜症に関する調査（内科専門医師） **

Q 1 1ヵ月間の糖尿病患者数 調査数 平均
13 290.7



1ヵ月間に診療する糖尿病患者数は、「100人以上」が38.5%、「25~49人」が30.8%などとなっている。平均患者数は290.7人である。

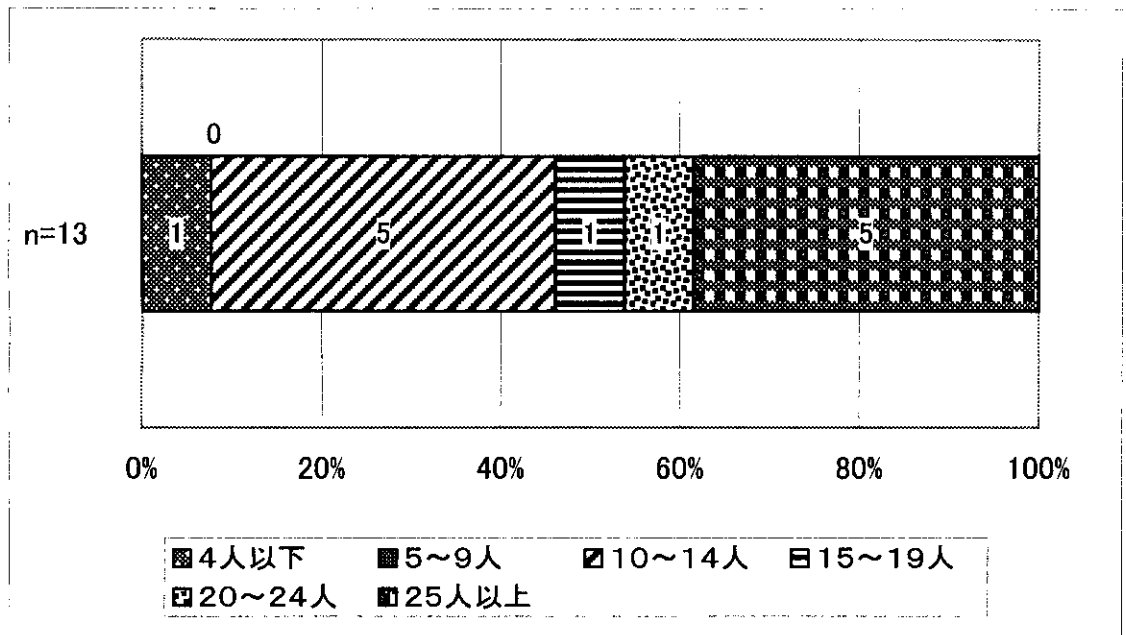
Q 2 1ヵ月間の新患患者数 調査数 平均
13 11.2



1ヵ月間の新患患者数は、「4人以下」が46.2%、「25人以上」が23.1%などとなっている。平均患者数は11.2人である。

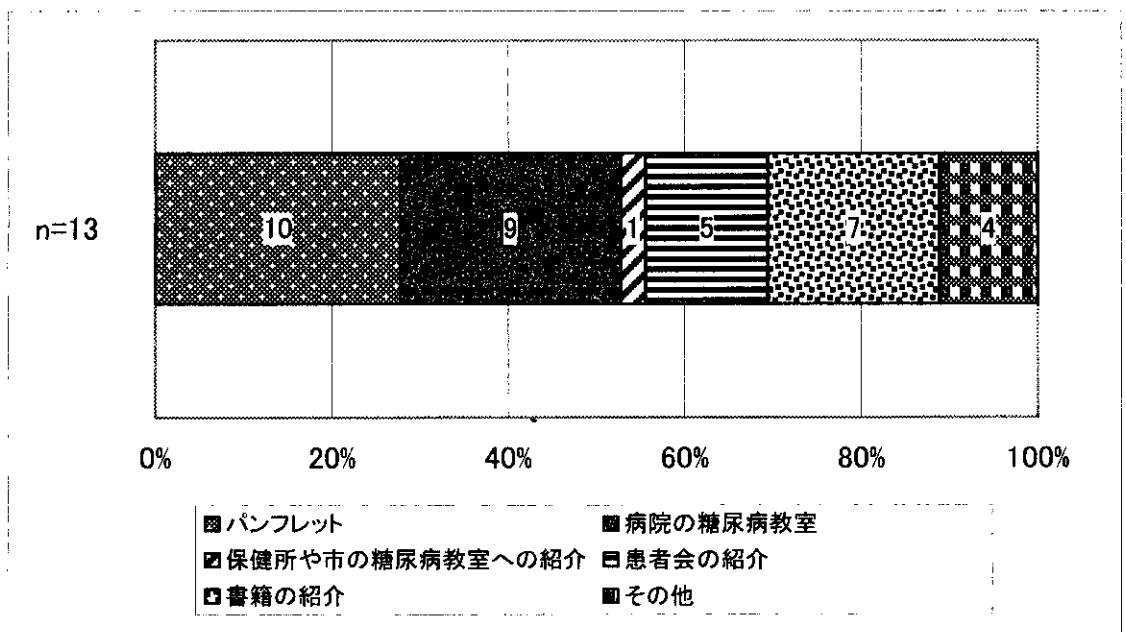
Q 3 調査期間内の糖尿病患者数

調査数 平均
13 67.6



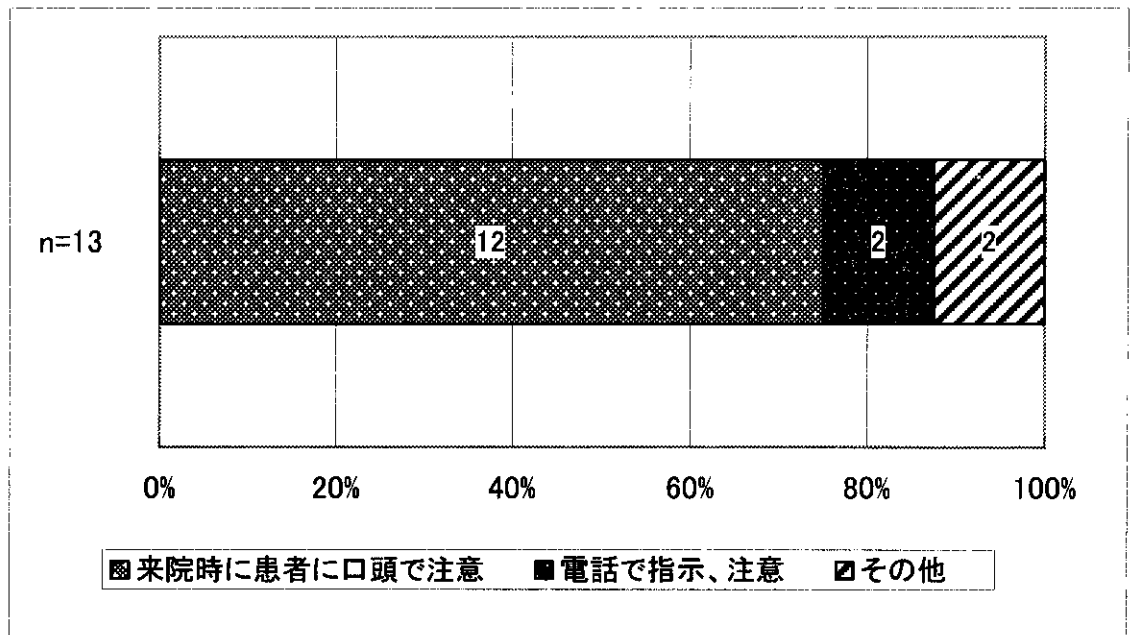
調査期間（3月12日～3月17日）内に診察した糖尿病患者数は、「10～14人未満」「25人以上」がともに38.5%などとなっている。平均患者数は67.6人である。

Q 4 糖尿病患者の教育方法



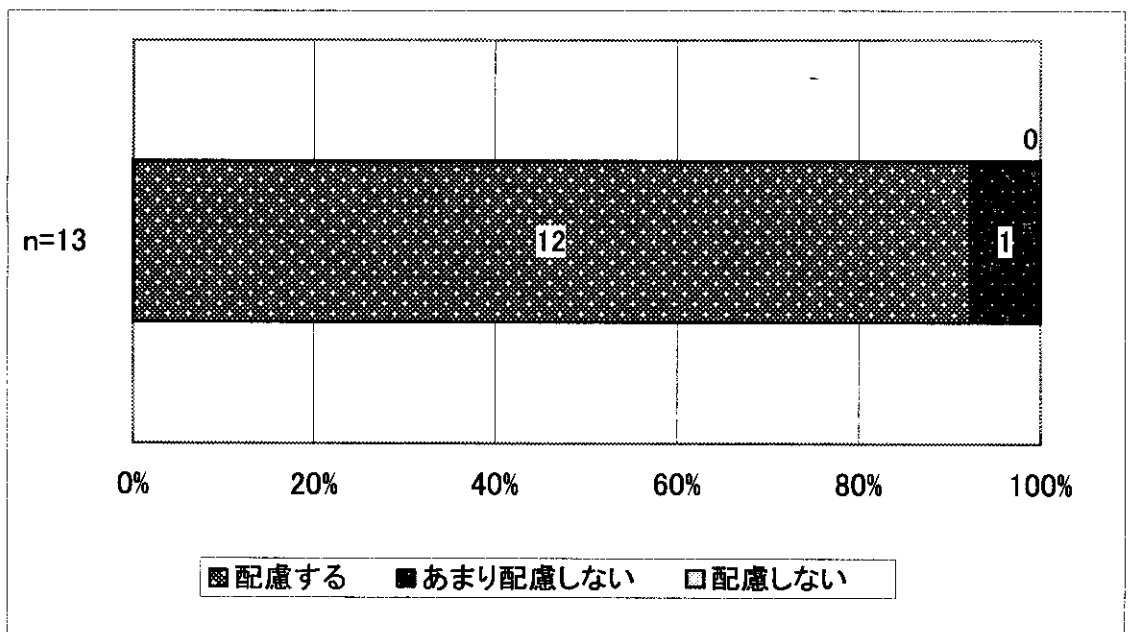
糖尿病患者の教育方法は、「パンフレット」が76.9%と最も多く、次いで「病院の糖尿病教室」が69.2%、「書籍の紹介」が53.8%などとなっている。

Q 5 定期的な通院や指示した治療を守らない患者への対処



患者が定期的な通院や指示した治療を守らない場合の対処は、「来院時に患者に口頭で注意」が92.3%と多く、次いで「電話で指示、注意」が15.4%となっている。

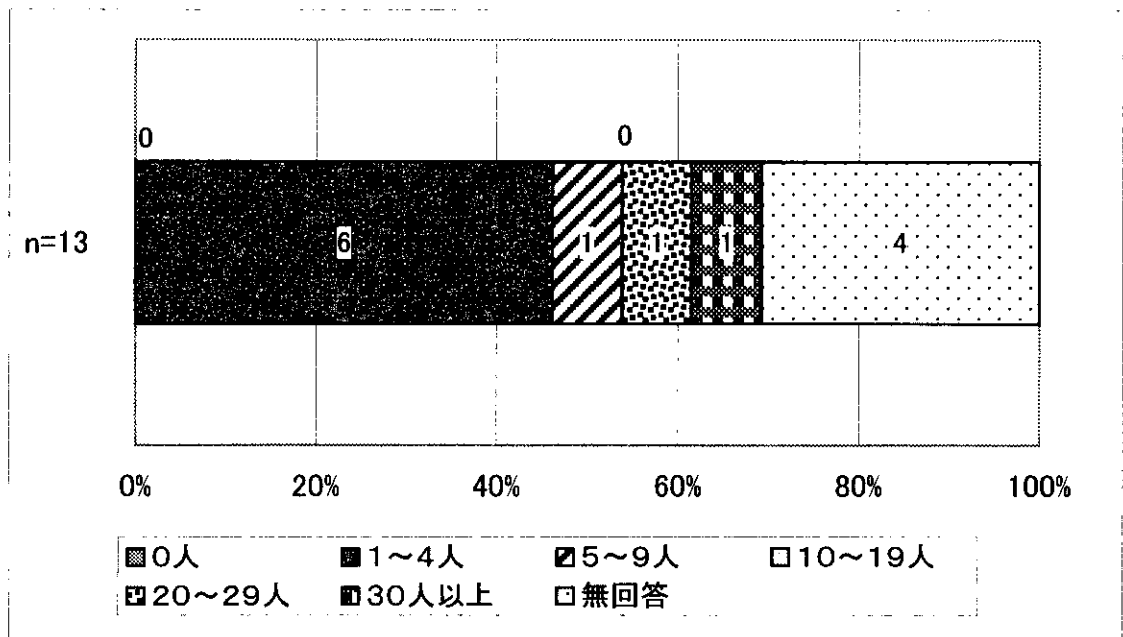
Q 6 患者の家族に対する教育への配慮



患者に教育する場合、家族に対する教育にも配慮するか否かについては、「配慮する」が92.3%、「あまり配慮しない」が7.7%となっている。

Q 7① 1ヵ月間の他院内科への紹介患者数

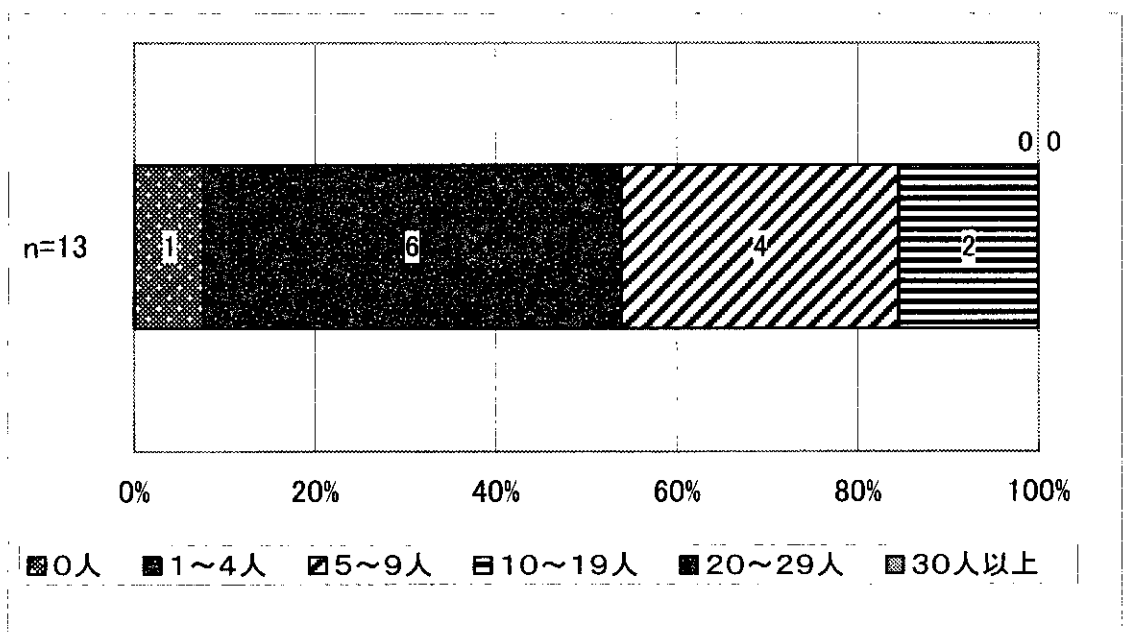
調査数 平均
9 7.6



1ヵ月間の他院内科への紹介患者数は、「1~4人」が46.2%、「5~9人」「20~29人」「30人以上」がともに7.7%となっている。平均患者数は7.6人である。

Q 7② 1ヵ月間の他院眼科への紹介患者数

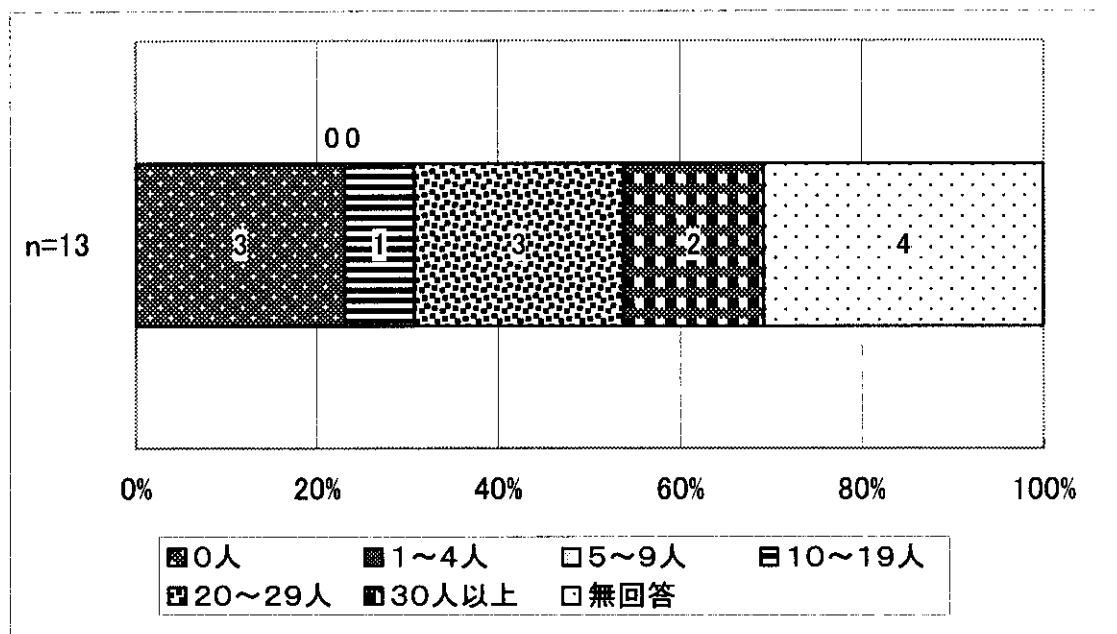
調査数 平均
13 4.7



1ヵ月間の他院眼科への紹介患者数は、「1~4人」が46.2%、「5~9人」が30.8%などとなっている。平均患者数は4.7人である。

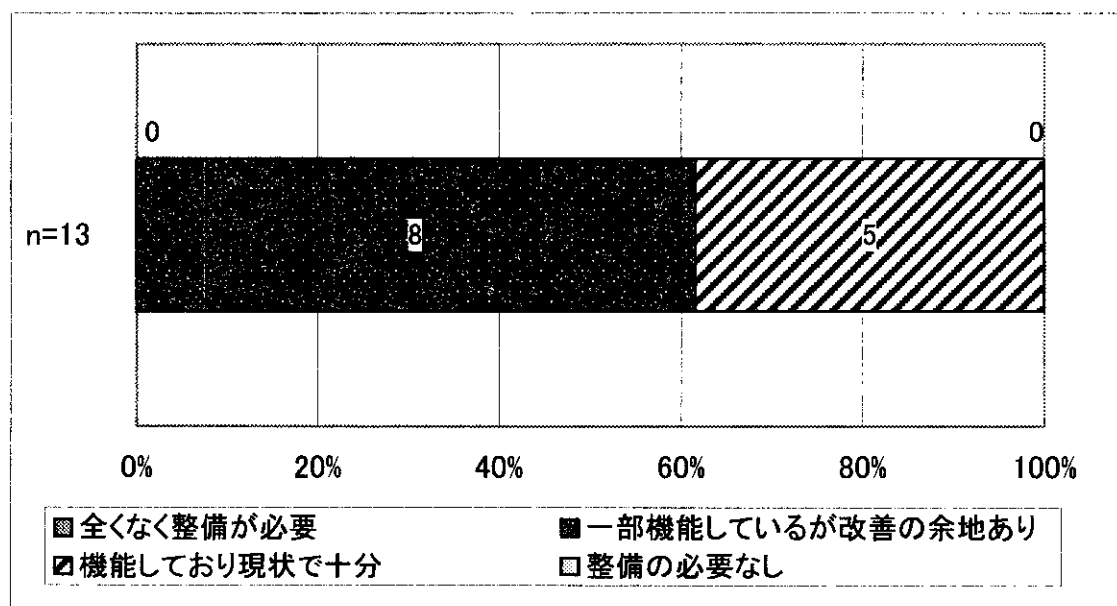
Q 7 ③ 1ヵ月間の院内眼科への紹介患者数

調査数 平均
9 18



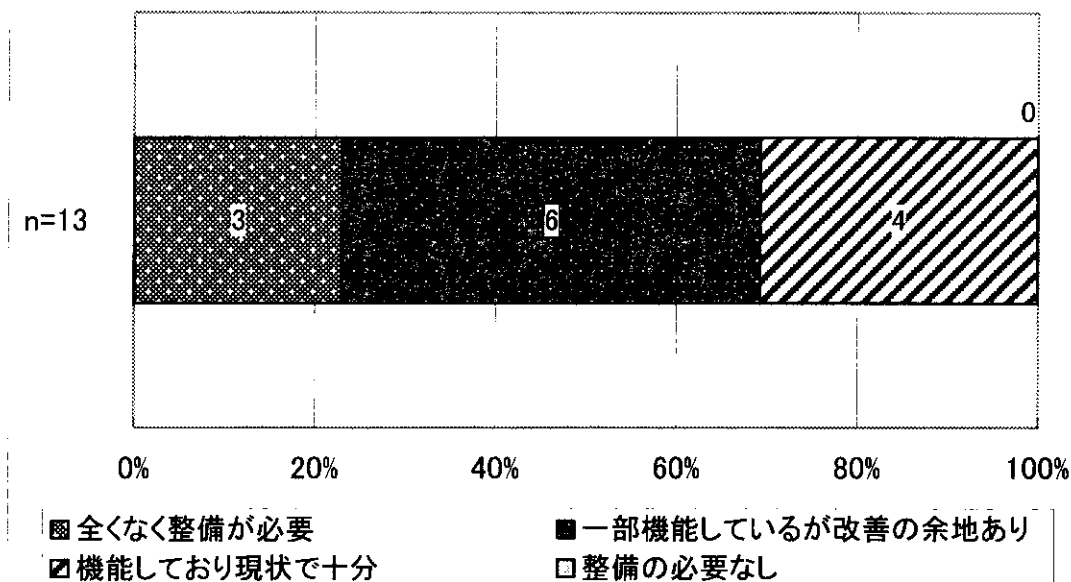
1ヵ月間の院内眼科への紹介患者数は、「0人」「20~29人」がともに23.1%などとなっている。平均患者数は18.0人である。

Q 8 ① 医療機関間の連携体制



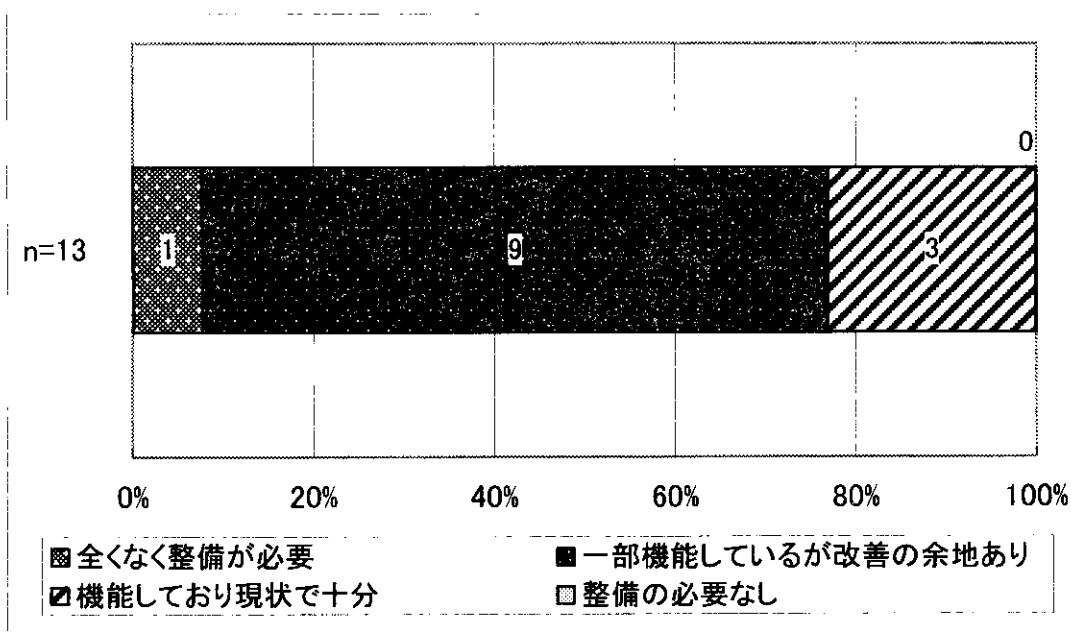
医療機関間の連携体制については、「一部機能しているが改善の余地あり」が61.5%、「機能しており現状で十分」が38.5%となっている。

Q 8② 統一した紹介状の作成



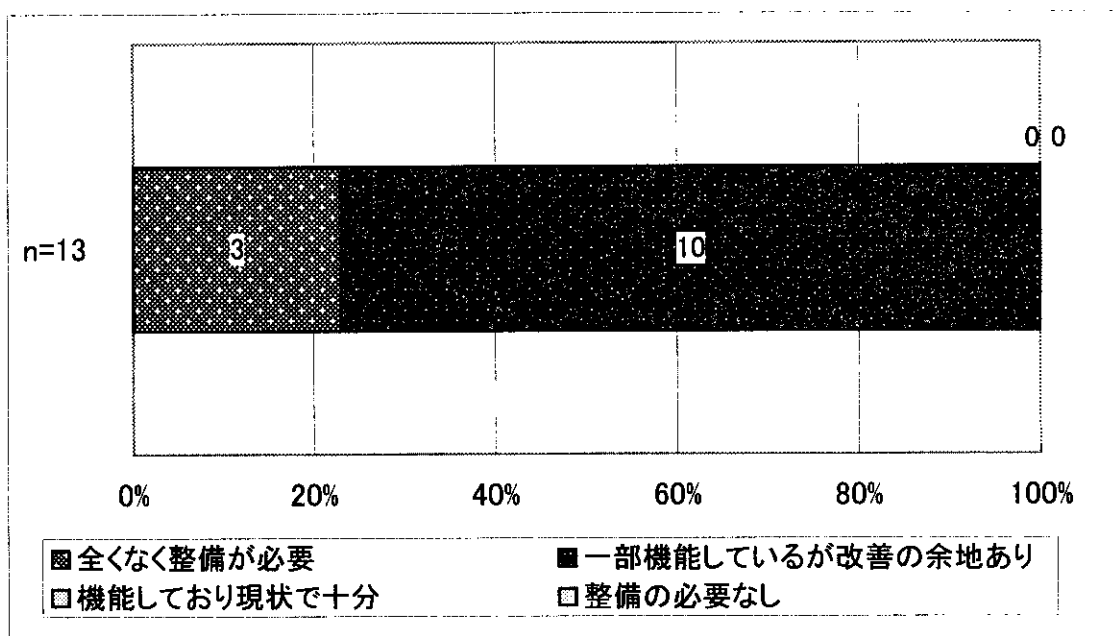
統一した紹介状の作成については、「一部機能しているが改善の余地あり」が46.2%と最も多く、次いで「機能しており現状で十分」が30.8%となっている。

Q 8③ 糖尿病の診療ガイドライン



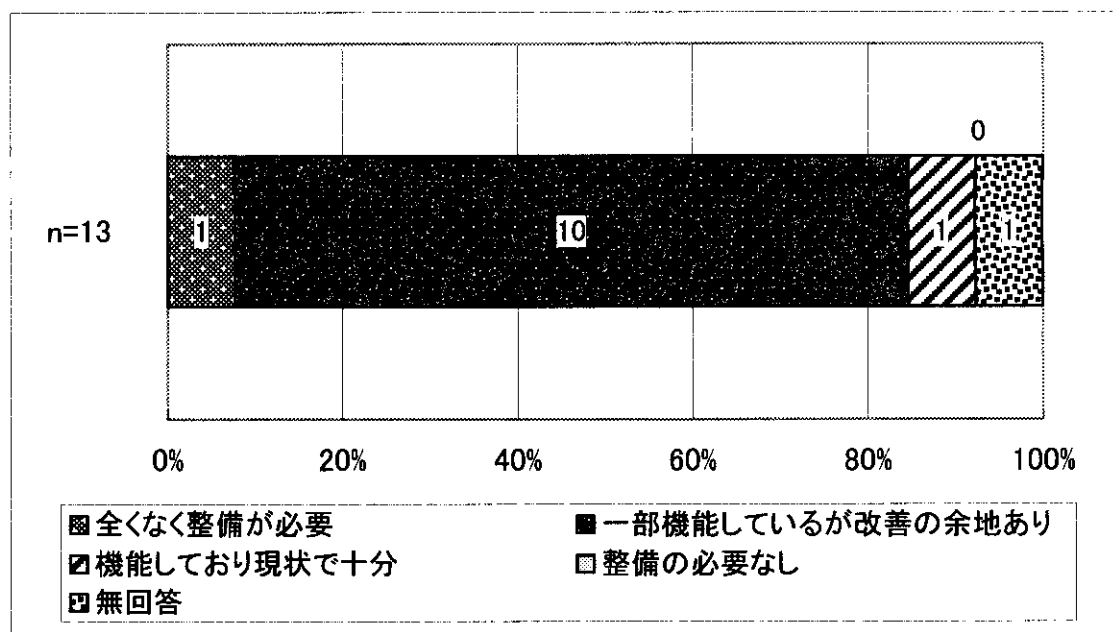
糖尿病の診療ガイドラインについては、「一部機能しているが改善の余地あり」が69.2%と最も多く、次いで「機能しており現状で十分」が23.1%となっている。

Q 8④ 医療機関、地域等での標準化された患者教育プログラム



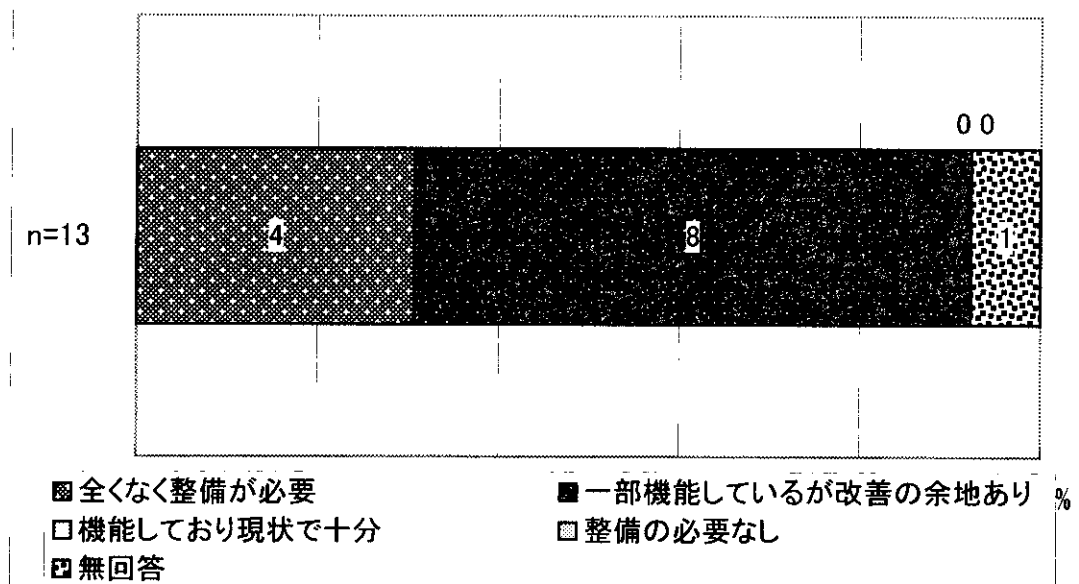
医療機関、地域、職場での標準化された患者の教育プログラムについては、「一部機能しているが改善の余地あり」が76.9%、「全くなく整備が必要」が23.1%となっている。

Q 8⑤ 内科医の網膜症予防に対する体制



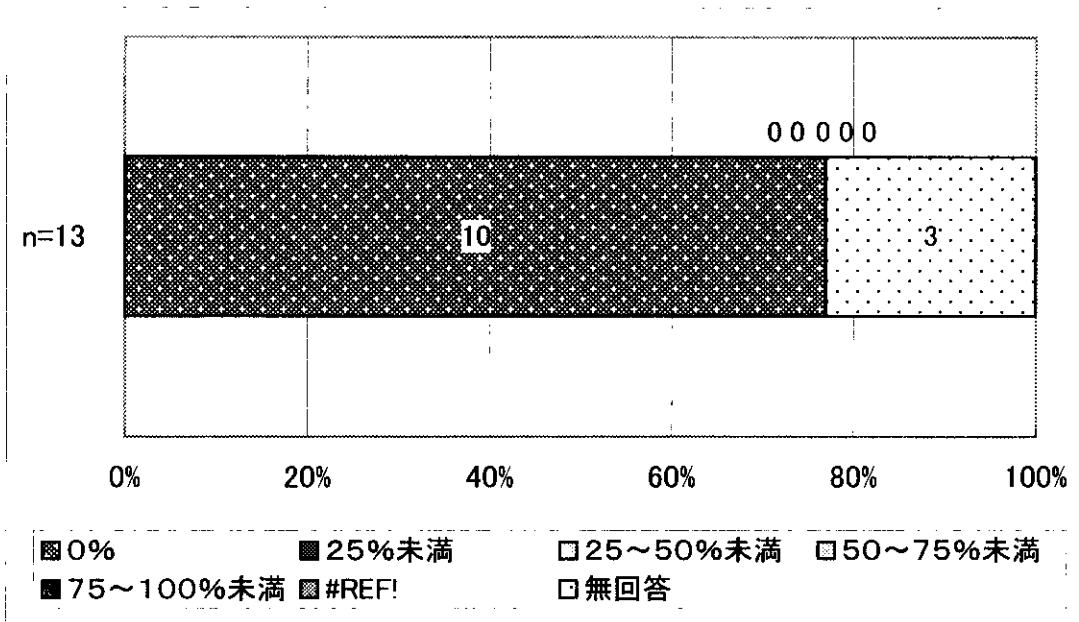
内科医の網膜症予防に対する体制については、「一部機能しているが改善の余地あり」が76.9%、「全くなく整備が必要」「機能しており現状で十分」がともに7.7%となっている。

Q 8⑥ 職場や地域の検診における糖尿病網膜症検査



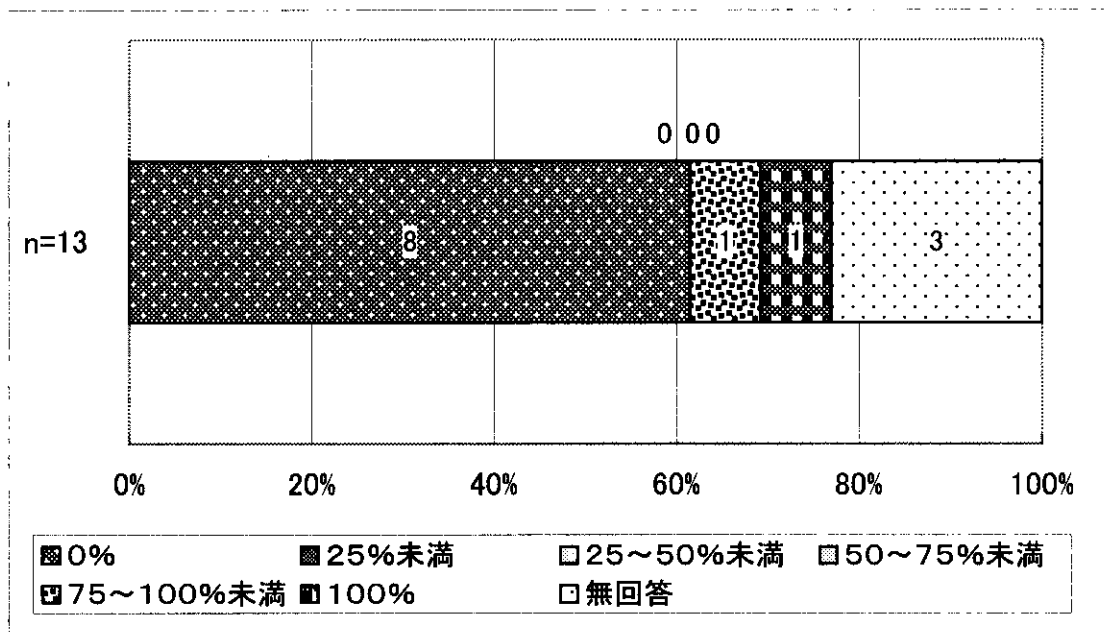
職場や地域の検診における糖尿病網膜症検査については、「一部機能しているが改善の余地あり」が61.5%、「全くなく整備が必要」が30.8%となっている。

Q 9① 口頭による眼科紹介の割合 調査数 平均



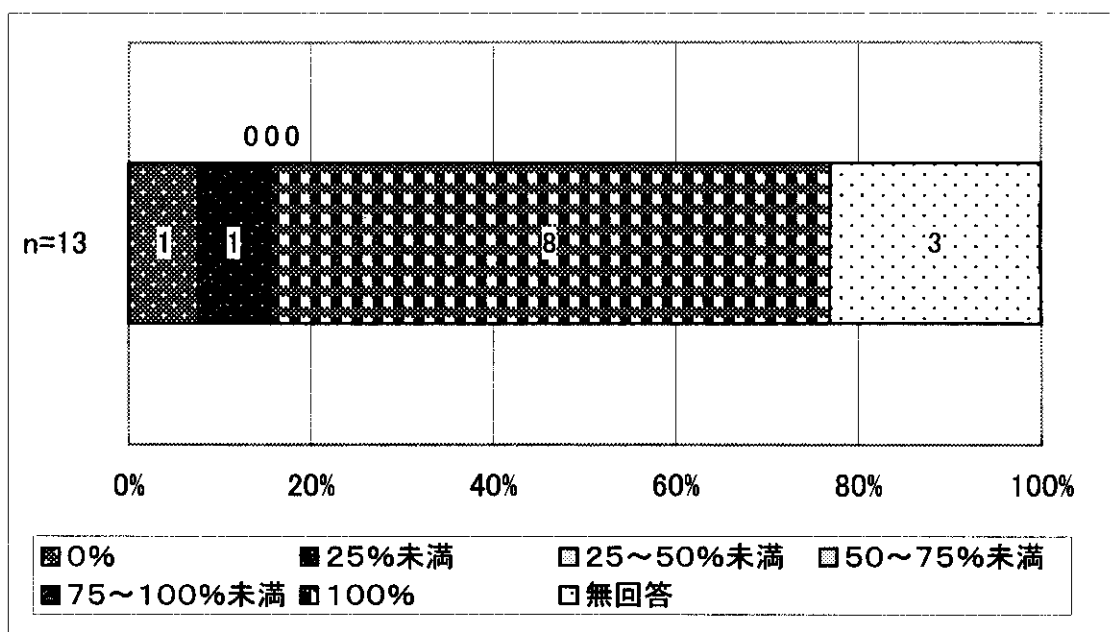
紹介状を特につけず、口頭により眼科へ糖尿病患者を紹介するというケースは皆無である（「0%」が76.9%、残りの23.1%は無回答）。

Q 9② 詳細情報をつけない紹介状による眼科紹介の割合 調査数 平均
10 18



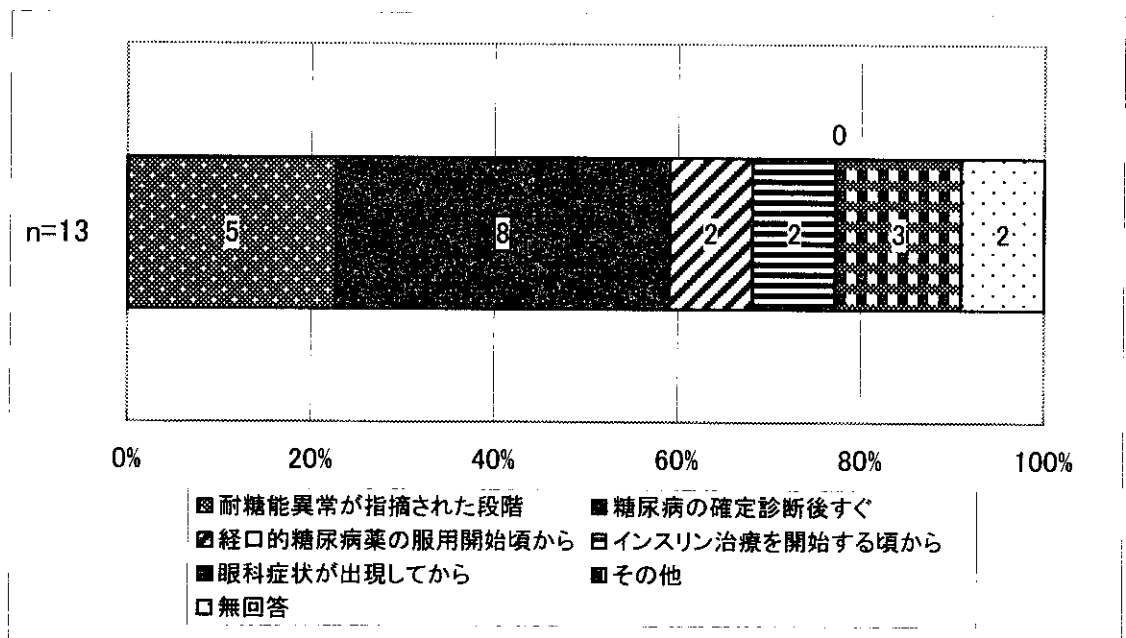
紹介状はあるが、内科の詳細情報はつけないで糖尿病患者を紹介する割合は、「0%」が61.5%、「75~100%未満」「100%」がともに7.7%となっている。割合の平均は18.0%である。

Q 9③ 詳細情報をつけた紹介状による眼科紹介の割合 調査数 平均
10 82



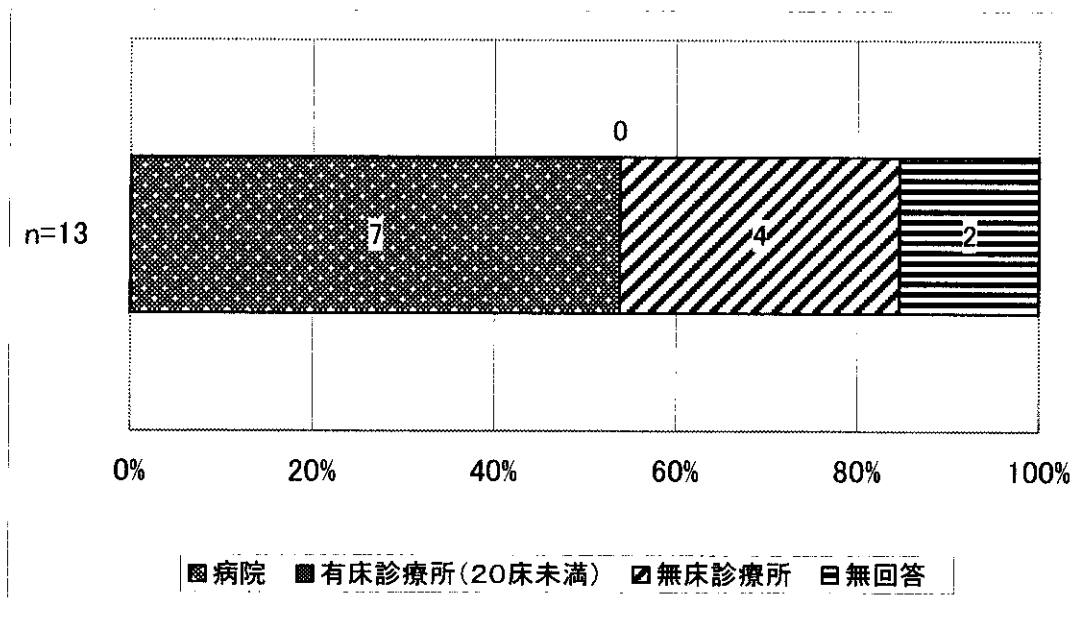
紹介状に内科の詳細情報をつけて糖尿病患者を紹介する割合は、「100%」が61.5%、「0%」「25%未満」がともに7.7%となっている。割合の平均は82.0%である。

Q10 眼科医へ網膜症検査を依頼するタイミング



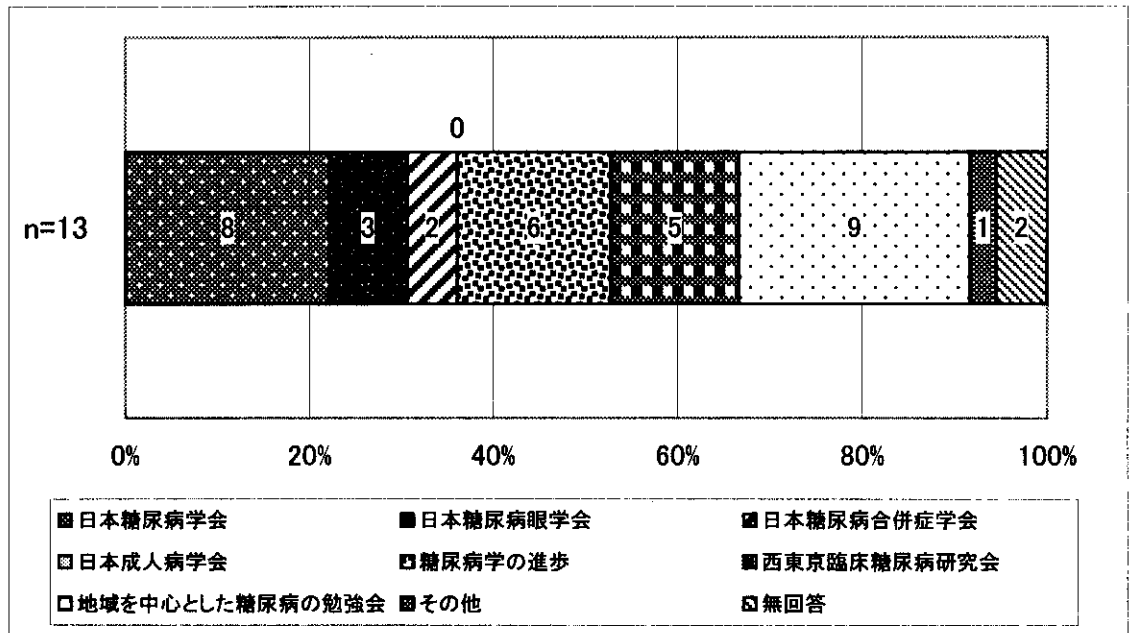
眼科医へ網膜症検査を依頼するタイミングは、「糖尿病の確定診断後すぐ」が61.5%、「耐糖能異常が指摘された段階」が38.5%などとなっている。

Q11 主な勤務先



回答した医師の主な勤務先は、「病院」が53.8%、「無床診療所」が30.8%となっている。

Q12 参加している勉強会、学会

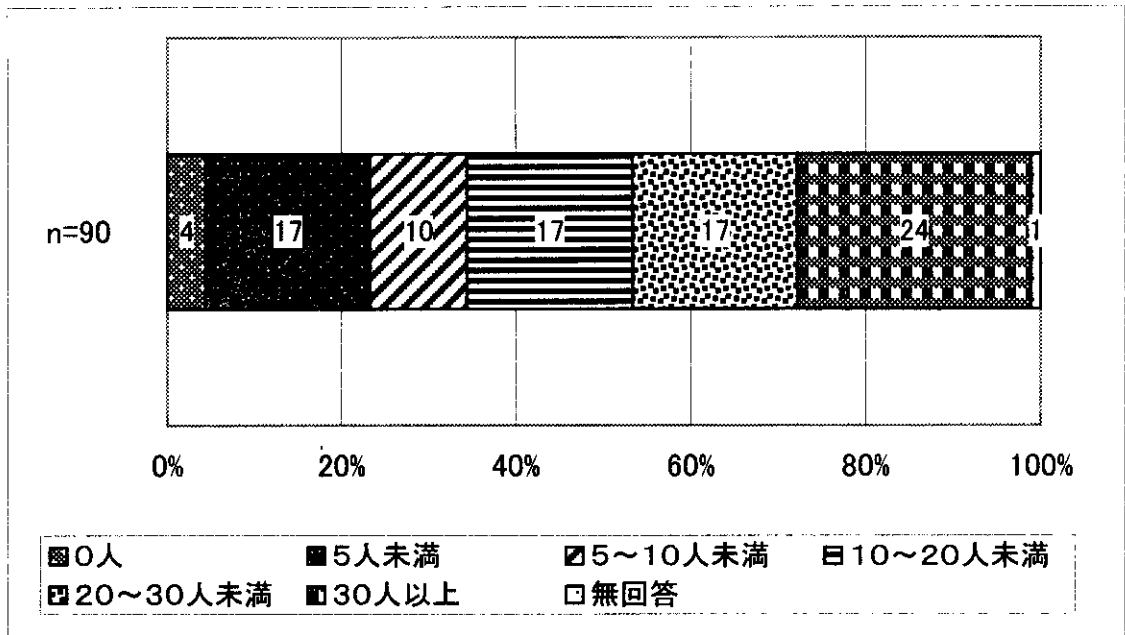


回答した医師が参加している勉強会、学会は、「地域を中心とした糖尿病の勉強会」が69.2%と最も多く、次いで「日本糖尿病学会」が61.5%、「糖尿病学の進歩」が46.2%などとなっている。

粗集計結果(内科一般医)

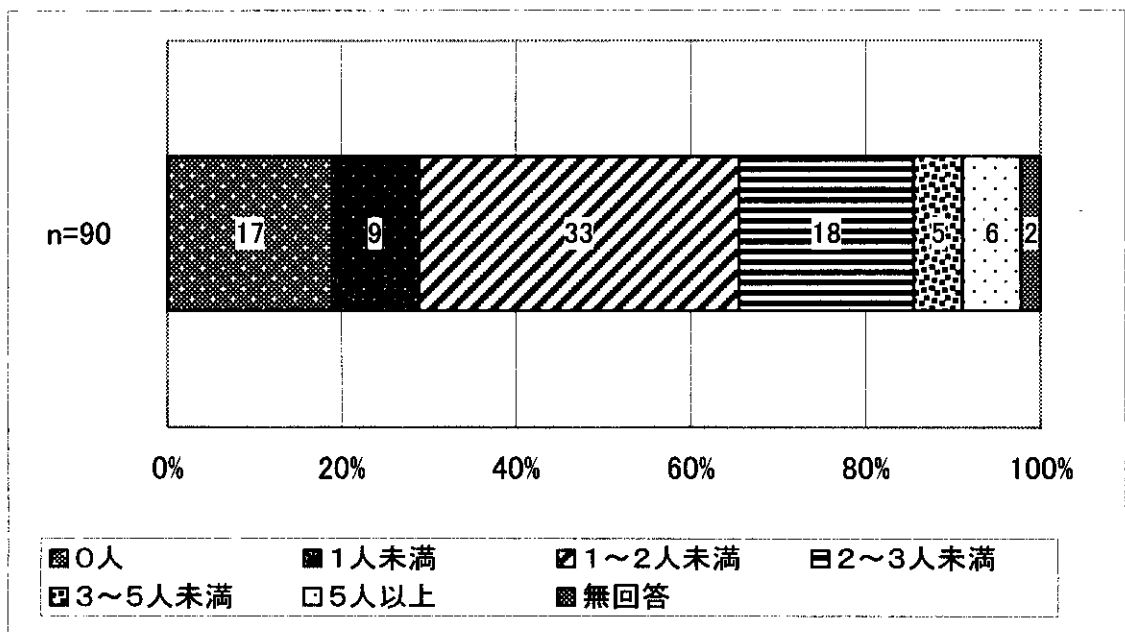
** 糖尿病網膜症に関する調査（内科医師） **

Q 1 1ヵ月間の糖尿病患者数 調査数 平均
89 24.8



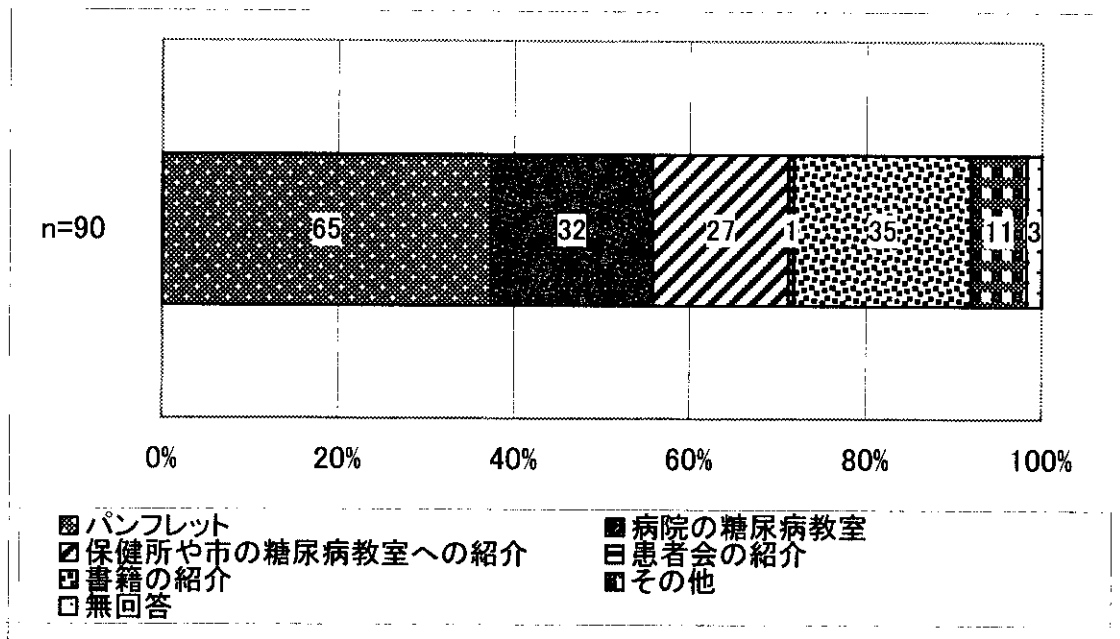
1ヵ月間に診療する糖尿病患者数は、「30人以上」が26.7%、「5人未満」「10~20人未満」「20~30人未満」がともに18.9%などとなっている。平均患者数は24.8人である。

Q 2 1ヵ月間の新患者数 調査数 平均
88 1.6



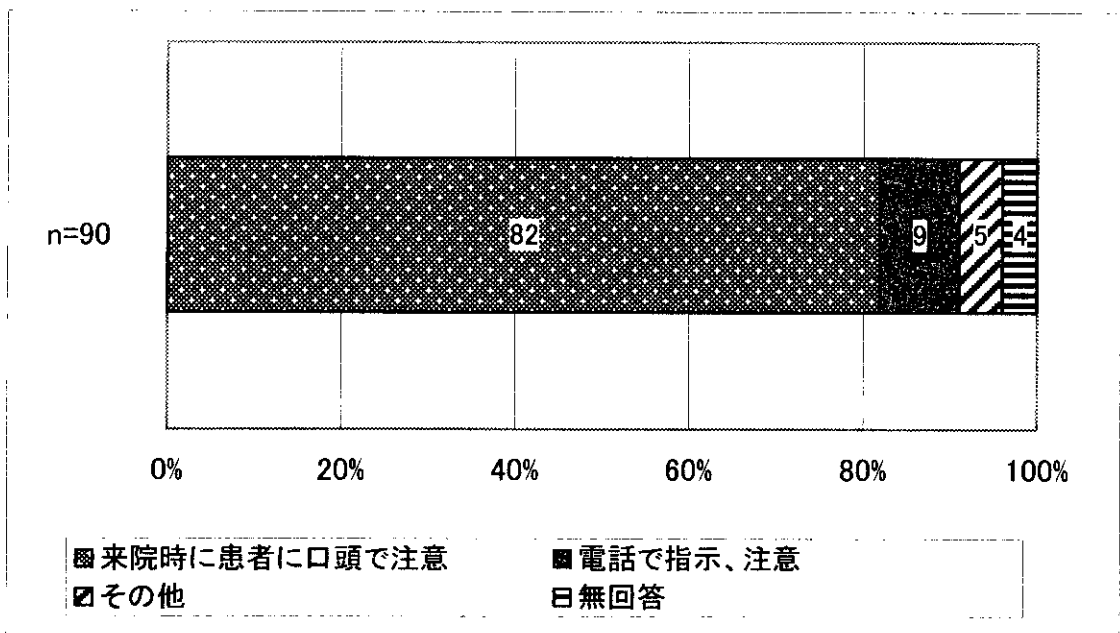
1ヵ月間の新患者数は、「1~2人未満」が36.7%、「2~3人未満」が20.0%、「0人」が18.9%などとなっている。平均患者数は1.6人である。

Q 3 糖尿病患者の教育方法



糖尿病患者の教育方法は、「パンフレット」が72.2%と最も多く、次いで「書籍の紹介」が38.9%、「病院の糖尿病教室」が35.6%などとなっている。

Q 4 定期的な通院や指示した治療を守らない患者への対処



患者が定期的な通院や指示した治療を守らない場合の対処は、「来院時に患者に口頭で注意」が91.1%と多く、次いで「電話で指示、注意」が10.0%となっている。